

◆奥尻町子どもナイトミーティング

規則正しい生活の大切さを学びました……。

教育委員会では、平成25年9月7日から11日までと9月25日から26日までの延べ7日間、平成25年度通学合宿「奥尻町子どもナイトミーティング」を開催しました。

この事業は、親元を離れ集団生活による規則正しい生活を学ぶことで、日頃の生活のリズムを整え、仲間と協力し合うことの大切さや、自らの考えや意見・表現する力を養い、学力向上のきっかけとすることを目的として実施しています。

今年は、小学生5・6年生の11名の児童が参加し、町民センターに合宿しながら学校に通学しました。

参加した子供たちは、押し花教室や交流学习など、さまざまなプログラムを体験し、互いのコミュニケーションや規則正しい生活の大切さなど多くのことを経験し学ぶことができました。



座禅を体験し無の境地へ……

押し花教室で先生の指導を受けました



昼食では流しローメンを楽しみました

◆劇団風の子「巡回小劇場」

迫力ある演技を楽しんでいました。

教育委員会では、平成25年9月17日、児童たちの感性や個性を育むことを目的に「巡回小劇場」を開催しました。

対象は全小学校児童及び保護者で、今年は劇団風の子による「かぶとやま大騒動」を上演しました。

観覧した児童たちは「おもしろかった」、「勉強になった」という意見が出るなど普段鑑賞機会のない舞台美術に興味がつきやすいようでした。



ようこそ 奥尻島へ……



奥尻町が防災教育に積極的に取り組んでいるのは、南西沖地震の教訓や経験を全国に発信することで、防災や減災に役立ててほしいとの想いと、震災当時、全国から頂いた温かい支援に対するお礼と感謝の想いから実施しています。

今年のラ・サール高校の研修でも、防災ロールプレイや避難所生活体験などを中心に学び、普段体験することができない経験をすることができましたが、帰りのフェリーは大シケで大変だったとのことでした……。

◆函館ラ・サール高校宿泊研修

防災教育や島の暮らしについて学びました……。

10月10日から12日の日程で、函館ラ・サール高校の生徒204名（関係者含む）が宿泊研修旅行のため、奥尻島に来町しました。

函館ラ・サール高校の宿泊研修は、今年で4回目を迎え、南西沖地震の教訓や経験を踏まえた防災教育や島の産業・自然など離島特有の暮らしについて学ぶなど充実した「島時間」を過ごされていたようです。

実際に避難所での生活を体験しました……



要援護者を伴って避難路を駆け上がる生徒たち